

第6回日進市史編さん委員会 議事録

日 時	平成26年10月30日(木) 午前9時30分～午前10時45分
場 所	日進市役所本庁舎 第3会議室
出 席 者	萩野幸三市長、堀之内秀紀副市長、青山雅道教育長、山田美代子委員、宮澤明倫委員、岩野見司委員、山本文次委員、近藤繁久委員、浅井常典委員、渡邊仁司委員、小林正信委員、須崎賢司委員
欠 席 者	塚本寛委員、浅井喜代人委員、林薫一委員、田中八隆委員
事 務 局	武田教育部長、西村教育部次長兼生涯学習課長、須崎主幹、宇佐美課長補佐、長原係長、菅原主任
報 告 事 項	(1)市史編さんの進捗状況について
議 題	(1)発刊スケジュールについて (2)自然編・民俗編の巻構成等について (3)その他

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>只今から、第6回日進市史編さん委員会を開催いたします。</p> <p>始めに、塚本寛委員、浅井喜代人委員、林薫一委員及び田中八隆委員が欠席でございますが、委員の過半数が出席されていますので、本日の会議は日進市史編さんに関する規則第5条第2項により成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>最初に、会長の萩野市長より挨拶を申し上げます。</p>
会長	<p>本市では、本年度、市制施行20周年を迎え、市をあげて20周年事業を展開しようと4月から色々な試みを実施して参りましたが、幸いどの事業も市民の皆様の大変あつい応援をいただきまして、着々と成果を揚げておるとい感じがいたしております。この市史編さんは、わが20周年の最終のとりを飾るに相応しいと申しましようか、大変大きな重要な事業であると認識しています。おかげを持ちまして、編さん委員の皆様のご助力、執筆委員の皆様にも大変お世話をいただき、大変順調に今まで進んでおると聞いておりこれも嬉しく、多分3月には立派な日進市史が発刊できると思っております。そして、いよいよ20周年を飾るに相応しい事業の終幕を大盛況のうちに終えることができると思っております。あとしばらくでございますので、委員の皆様には一層のご支援ご協力をお願い申し上げますし、また、編さん委員会は今回が最後でございますので、各委員の皆様には、それぞれの思いのたけをお話いただき、編さん委員会は有終の美を飾ることになろうかと思っておりますので、一層のご支援ご協力をお願いし挨拶にかえさせていただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>会長である市長でございますが、ここで他の公務により退席させていただきますので、よろしく願いいたします。</p>

事務局	<p>それでは、次に委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと思います。編さん委員会委員の委嘱は、平成26年4月1日からでございます。委員の皆様には大変失礼ながら、委嘱書を自席配布とさせていただきます。再任の方もおみえですが、今年度から委員をお願いしている方もいらっしゃいますので、よろしくお願ひいたします。</p>
各委員	自己紹介
事務局	<p>ありがとうございました。引き続き、事務局職員の自己紹介をさせていただきます。</p> <p>事務局の自己紹介</p>
事務局	<p>それでは、報告事項に入らせていただきます。</p> <p>ここからの議事進行は、日進市史編さんに関する規則第4条第4項に基づき、堀之内副市長をお願いしたいと思います。</p>
議長	<p>皆様のご協力をいただきまして、円滑な議事進行に努めてまいりたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>始めに、報告事項(1)市史編さんの進捗状況について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【市史編さんの進捗状況について説明】</p> <p>会議資料の確認後、資料に基づき説明</p> <p>その後、プロジェクターを使用してパワーポイントにて説明 (動植物の写真の部分では、関係の委員に解説を行っていただいた。)</p>
議長	<p>ただいま各部会の調査内容や成果等も含め、市史編さんの進捗状況について説明がりましたが、ご質問等はございませんか。</p>
各委員	(質疑なし)
議長	<p>ご意見、ご質問等はございませんか。</p> <p>ご意見等がないようですので、引き続き自然編・民俗編発刊に向けての校正や印刷等の事業を進めていただきますようお願いします。また、委員の皆様におかれましても、今後お気づきのことがありましたら、是非事務局へご連絡いただきますようお願ひいたします。</p>
議長	<p>次に、議題に移ります。</p> <p>議題(1)発刊スケジュールについて、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【発刊スケジュールについて説明】</p> <p>資料に基づき説明</p>
議長	<p>発刊スケジュールについては、前回の会議においてもご審議をいただきましたが、あらためて提示していただきました。</p> <p>ただいまの説明について、ご意見ご質問のある方はいらっしゃいませんか。</p>
委員	<p>日進市史自然編及び民俗編は、どのような方法でどのような業者と契約されたのですか。</p>

事務局	自然編と民俗編のタイムスケジュールが異なっているため、同時入札ではありませんでした。自然編は指名入札により河北印刷㈱と4月1日に委託契約し、民俗編も指名入札により同じ河北印刷㈱が落札し、7月16日に委託契約をいたしました。河北印刷㈱は京都の会社ですが、最近では近隣の豊田市史及び三好町誌や、愛知県史も落札している会社です。
委員	大きな会社なのですか。
事務局	河北印刷㈱は東京にも事業所があり本社工場もある会社です。書籍には様々な種類があり、その中でも自治体史の制作は、手間がかかり大変なため敬遠する会社が多い中で、いくつかの会社が自治体史の制作に力を入れており、河北印刷㈱もその中の一社です。
議長	他にご意見、ご質問のある方はいらっしゃいませんか。 ご意見等がないようですので、議題(1) 発刊スケジュールにつきましては、現在のところは案のとおり進めていくといくことをご承認いただけますでしょうか。
各委員	異議なし。
議長	ありがとうございます。 では、発刊スケジュールは案のとおり承認することといたします。
議長	続きまして、議題(2) 自然編・民俗編の巻構成等について、事務局より説明をお願いします。
事務局	【自然編・民俗編巻構成等について説明】 資料に基づき説明
議長	ただいま説明がありましたように、巻構成については、編集や校正によりページ数等に変更の可能性があります、流動的な部分があるとのことですが、大枠については決定しているとのことでした。ただいまの、事務局の説明について、ご意見ご質問はございませんか。
委員	ただいま、懇切丁寧なご説明をいただきました。私の体験に基づく質問ですが、市史編さんで収集された資料は将来どのように保存や公開をなさるのか。
事務局	まず、自然編ではかなりの数の昆虫等の標本箱があり、それらは当面は各委員が保管していただくことになっておりますが、保管場所が確保できれば市において保管することも検討の必要があると考えています。また、市史に使用した写真は、来年度に写真台帳を作成する予定です。 民俗編は、調査で聞き取りした内容をデータベース化しており、お借りした写真及び資料等は、スキャンや写真撮影により保存してあります。また、民俗編も本編で使用した写真は来年度に写真台帳を作成する予定です。 については、標本箱や写真を展示する市史講座を来年度以降も実施できたらと計画しております。
議長	他にご意見、ご質問のある方はいらっしゃいませんか。

委員	日進自然観察会の代表をしているが、今年の11月14日の午後から16日まで市民会館において、日進自然観察会の30周年記念事業を実施します。これは、市の20周年記念市民公募事業であり、日進市史のPRブースも設けますので、編さん委員の皆様もご都合があれば、是非ご来場ください。
議長	11月14日の午後から16日までということですので、皆様、積極的なご参加をお願いいたします。 その他、ご意見、ご質問はございませんか。
各委員	(意見及び質疑なし)
議長	それでは、ご意見等もないようですので、議題(2)自然編・民俗編の巻構成等ついて若干の変更もあり得るとのことですが、それも含めて案のとおりご承認いただけますでしょうか。
各委員	異議なし。
議長	ありがとうございます。 では、自然編・民俗編の巻構成等については案のとおり承認することいたします。
議長	次に、議題(3)その他、について事務局から提案事項はございますか。
事務局	事務局から2点ございますので、説明をさせていただきます。 お手元の資料の後ろに、自然編及び民俗編の原稿の扉と本文について、自然編は目録もあわせて見本がございます。市史の中身のイメージはこのようになりますが、提案の1点目は、市史の装丁についてです。装丁の見本である束見本を用意いたしました。表紙の色は緑としました。これは、日進市第5次総合計画の基本構想に日進市の将来都市像として、「いつまでも暮らしやすいみどりの住環境都市」とうたっており、また、日進市旗も緑であるため選択をいたしました。 2点目は、市史の販売価格についてでございます。資料の最後に他自治体史販売価格と日進市史の価格案が記載してあります。様々な内容の自治体史がありますが、販売価格の積算方法で一番多いのが制作委託費を部数で割った金額を基本としたうえで、購入しやすい価格に調整する方法です。日進市としても、財政部局との協議が必要ですが、他自治体の状況を参考にし、制作委託費を制作部数で割った価格を基本としますが、平成22年度の市史編さん委員会でもいただいたご意見のとおり、市民に手にとっていただきやすい価格にしたいと考えるため、自然編で税別4,000円、民俗編で税別3,000円で価格を検討しております。基本となる制作委託費を部数で割った価格は、自然編が税別で約5,450円、民俗編が約3,000円です。
議長	ただいま、装丁については緑色、また、販売価格については、他自治体の状況も参考にしつつ、手にとっていただきやすい価格ということで、自然編は税別4,000円、民俗編は税別3,000円との提案がございました。 これらにつきまして、皆様からご意見、ご質問がございましたら、お願いいたします。
委員	日進市史の制作部数は何冊ですか。

事務局	自然編、民俗編ともに 1,000 部です。お手元の資料に他自治体の制作部数とともに記載させていただきました。
委員	1,000 部にされた理由はなんですか。
事務局	限られた予算の中で、他自治体の状況を参考に 1,000 部といたしました。
議長	その他に、ご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。
委員	先ほど、事務局から説明があったように、手にとっていただきやすい価格が望ましいと考えます。事務局一任でよいですが、税別 4,000 円だと税込み 4,320 円になり、購入するほうも販売するほうも小銭が必要となるので、自然編は、税込み 4,500 円と設定して税別の定価を算出してもよいのではないのでしょうか。
事務局	例えば 8 パーセントの消費税で税込み 4,500 円としますと、税別 4,167 円となりますが、消費税が 10 パーセントになった場合に税込み 4,583 円となる計算になりますので、税別 4,000 円を選択した経緯がございます。ただいまの委員のご意見のとおり端数が出ないほうが望ましいのですが、市の書籍や使用料の消費税につきましては、消費税法に基づき転嫁する方針となっておりますので、ご理解願いたいと思いますが、ご意見として承ります。
委員	事務局案より、わざわざ高い価格に設定する必要はないと考えます。
委員	1,000 部のうち寄贈分は何冊くらいですか。
事務局	約 350 部を想定しています。
委員	価格にはその分も含まれているのですね。
事務局	はい。
委員	市史の編さんの中で何にポイントをおいているかということ、市民の皆さんに親しんでいただけることを念頭においてきました。日進市史ということで、深い日進を表現できるように進めています。 また、事務局から市史の発刊部数が 1,000 部と説明がありましたが、できるだけ残部を少なくしたいと考えます。そのためには内容も大事ですし PR もしなくてはなりません。 市史は発刊がスタートだと考えます。発刊後にいかに市民の皆さんに理解していただき活用していただけるかを考えていくことが大事です。そのためにも事務局の体制を引き続き整えていただけるよう希望します。また、委員の皆様にも今後ご理解ご協力をいただけるようお願いいたします。
議長	販売部数は約 650 部ということですね。市民の方に親しんでいただけるような PR をしていただけるよう委員の皆様にもよろしくお願いいたします。また、事務局も努力をお願いします。 その他、ご意見、ご質問はございませんか。
委員	先ほど、民俗編の調査内容をデータベース化されていると伺いましたが、そのデータや写真をホームページ等で公開される予定はありますか。
事務局	民俗編の聞き取り調査内容は個人情報が多く難しいです。また、写真についても市史や講座に使用することの承諾は得られても、ホームページ公開の承諾をされない方が多いため、ホームページでの公開予定はありません。

議長	<p>他に、ご意見、ご質問等ございませんか。</p> <p>ないようですので、今 2 点、事務局案が提出されています。まず表紙の色ですが、総合計画に基づいた緑色ということで、編さん委員会としては承認でよろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
議長	<p>ありがとうございます。それでは、色につきましては東見本の緑色で編さん委員会としては承認されました。</p> <p>続きまして、市史の価格ですが、説明がありましたとおり最終的には財政部局との協議により決定されるということですが、事務局案がございますので、この委員会としてどうかの決定をさせていただきたいと思います。事務局案として、自然編が税別 4,000 円、民俗編が税別 3,000 円と提示されていますが、この案でご承認いただけますでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
議長	<p>ありがとうございます。市史販売価格につきましては、事務局案のとおり編さん委員会としては承認されましたので、財政部局のほうには、協議の際に強くお伝えいただくようお願いいたします。</p>
議長	<p>他に、全体をとおしてご意見などございませんか。</p> <p>ないようですので、これで本日の議題につきましては、全て終了しました。長時間にわたり慎重なご審議をいただき、また、皆様のご協力によりスムーズな議事運営ができましたことを感謝申し上げます。どうもありがとうございました。</p> <p>ここで、議事を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>次第の連絡事項でございますが、特にございません。ただ、冒頭で市長も申しておりましたとおり、編さん委員の皆様の任期についてもございますので、教育部長の武田よりお礼も含めましてご挨拶申し上げます。</p>
武田部長	<p>本日は、長時間に亘り委員の皆様に慎重なご審議をいただき、誠にありがとうございます。この市史編さん事業は平成 22 年度より調査が始まり、平成 26 年度末の平成 27 年 3 月が発刊の運びとなります。現在の編さん委員の皆様の任期といたしましては、名簿にもありましてとおり平成 28 年 3 月末までとなっておりますが、今年度末で市史が発刊を迎えるということで、この編さん委員会の目的ですとか役割につきましては、全うされたのではないかとということで、委員の皆様の任期を少し前倒しさせていただきまして、平成 27 年 3 月 31 日までとさせていただきたいと思っております。</p> <p>これまで、皆様の様々なお力をいただきましたことに感謝をいたしますとともに、来年度以降に市史講座等の市史の PR 事業を継続して行って参りたいと思いますので、今後も引き続き見守っていただくとともに、また、ご指導等もいただきますようお願いを申し上げます。最後のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。</p>
事務局	<p>これもちまして、市史編さん委員会を終了させていただきたいと思えます。本日は誠にありがとうございました。</p>
	(午前 10 時 45 分 閉会)